**愛知県産業連関表の修正について**

愛知県産連関表の作成方法は下記の「愛知県産業連関表作成概要」で行っています。

平成23年（2011年）愛知県産業連関表公表後に、ご利用者から愛知県産業連関表の第３次産業関連部門の移輸出、移輸入の推計方法について、他の都道府県と異なる等の指摘がありました。そこで推計方法を見直し、2020年12月24日に2015（平成27）年愛知県産業連関表を公表しました。しかしながら、移出、移入の推計の一部に既存の統計調査と比べて乖離が生じていることに公表後に気がつき、再度推計方法を見直し、修正することとしました。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

修正は、鉄屑、電気計測器、学校教育の最終需要部門の家計消費支出、移出、移入に関係する所です。この修正により最終需要部門の多くの所で数値が少しずつ変わっています。

修正が生じた所は、公表資料報告書第１部概要編では、図表１、図表２－２、２－４、1ページ、２ページ、15ページから34ページ、43ページから44ページとなります。別冊第２部統計表（統合大分類43部門）では、1ページから28ページとなります。

公表資料統計表統合大分類（43部門）では、1ページから25ページとなります。統合中分類（109部門）では、1ページから50ページとなります。統合小分類（186部門）では、1ページから50ページとなります。

記

愛知県産業連関表作成概要

（１）県内生産額の推計

各種センサス、動態統計、業務資料、公的部門の決算書等の資料をもとに、表左下の県内生産額を推計します。

（２）中間投入額と粗付加価値額の推計

（１）で推計した県内生産額に対し、全国産業連関表の基本分類ベースでの投入係数を掛け、中間投入額と粗付加価値額の推計を行います。一部の部門では「経済センサス組替集計結果」等の資料も利用して推計を行います。

（３）最終需要部門の推計

ア　家計外消費支出（列）

粗付加価値額の推計で算出した家計外消費支出（行）の合計値を、全国産業連関表の家計外消費支出（列）の構成比で按分します。

イ　家計消費支出

品目別家計消費支出を推計し、産業連関表の部門へ変換した上で補正係数を掛けて利用します。品目別家計消費支出の推計については、「１世帯当たり年間の品目別支出金額」×「県の世帯数」により求めます。品目別年間消費支出額については「家計調査（総務省）」により、世帯数は「平成27年人口推計（総務省）」によっています。補正係数は、「全国産業連関表の家計消費支出の部門別金額」／「国レベルで品目別家計消費支出を推計し、産業連関表の部門へ変換した数値」で求めています。

ウ　対家計民間非営利団体消費支出

全国表の対家計民間非営利団体消費支出の額を、生産額の対全国比で按分します。

エ　一般政府消費支出

全国表の一般政府消費支出の値を、生産額の対全国比で按分します。

オ　県内総固定資本形成（公的）

資本形成部門ごとに、生産額、経済センサス組替結果等の指標を用いて全国表の資本形成額を按分し、全国表の固定資本形成（公的）によって行部門に分割します。

カ　県内総固定資本形成（民間）

県内総固定資本形成（公的）に準じた方法で推計を行います。

キ　在庫純増

「生産者製品在庫純増」及び「半製品・仕掛品在庫純増」に関して、製造業は経済センサスの数値を使用し、それ以外の部門は全国表の一般政府消費支出の値を、生産額の対全国比で按分します。「流通在庫純増」については県内需要額、「原材料在庫純増」については中間需要額により、全国表の在庫純増の値をそれぞれ按分します。

ク　移輸出入

移出入率、輸出率を算出するため、以下の商品流通調査を実施しています。

移出入額、輸出額については、上記の調査から算出した移出入率、輸出率を県内生産額に掛けて推計します。輸入額については、全国表の輸入率を県内需要額に掛けて求めます。

（４）最終調整（バランス調整）

上記方法により推計した県内生産額、粗付加価値額、最終需要額をもとに、表全体の最終調整を基本分類ベースで行います。

なお、バランス調整においては、数値の精度上の観点から、投入側をほぼ固定させ、産出側の数値（特に最終需要部門）を中心に調整を行います。